



子どもカフェみんなの樹 代表
栃木市子ども食堂ネットワーク
さとう ゆうき
佐藤 祐樹 さん

今回は大平西地区公民館（大平町富田）を拠点に活動する子ども食堂『子どもカフェみんなの樹』の代表である佐藤さんをご紹介します。最近、全国的に話題となっている「子ども食堂」。その可能性と課題についてお話を伺いました。



子どもカフェみんなの樹 ホームページ

「子どもカフェ」はみんなの居場所
市内出身で、現在は福祉施設で働いている佐藤さんは、今年4月から、子ども食堂『子どもカフェみんなの樹』を運営しています。
「子どもカフェみんなの樹」は、毎月一回、第一土曜日に、大平西公民館で開催。対象は18歳未満の子どもですが、保護者と一緒に参加することも可能。手頃な参加費（現在は子ども100円、大人300円）で食事を提供していただきます。また、会場では工作や学習会なども実施するそうです。参加者からはどのような反響があるのか、伺いました。
「毎回40人以上の子ども達、さらに約20人のボランティアと、多くの参加者が集まっています。誰でも気軽に参加出来る、温かいご飯を食べられる場所にするのを心掛けています。子ども食堂には、『貧困の子どものための場所』という印象がどうしてもあります。しかし、本当に食事が必要な子ども達が集まっています。誰でも気軽に参加出来る、温かいご飯を食べられる場所にするのを心掛けています。子ども食堂には、『貧困の子どものための場所』という印象がどうしてもあります。しかし、本当に食事が必要な子ども達が集まっています。誰でも気軽に参加出来る、温かいご飯を食べられる場所にするのを心掛けています。」

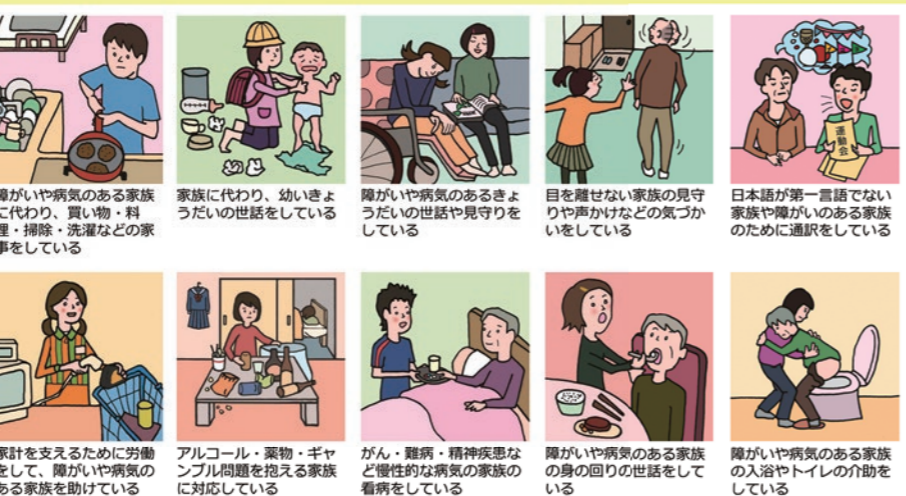


会場では学習会などの取り組みも

も達が参加しづらい雰囲気にならぬよう、敷居を低く、名前も『子どもカフェ』としました。また、『貧困』というのは経済的な事だけでなく、『体験の貧困』もあります。コロナ禍で様々な体験の乏しい子ども達のための居場所を作ってくれて嬉しい、という声も聞いています。
子ども食堂の連携を目指す
子ども食堂の運営を始めたきっかけには、佐藤さんが日頃から抱く思いがあったそうです。「福祉施設で働き、貧困や孤独に対し、何かできることがあるのでは？」と考えていました。食品ロス問題にも興味があり、それらに貢献できる子ども食堂を始めました。
また、市が市民活動を応援する『とちぎ夢ファール』の助成を利用し、『栃木市子ども食堂ネットワーク』として子ども食堂の横連携に取り組んでいるそうです。「子ども食堂同士が情報交換したり、パンフレットなど作成して、普及啓発を図りたいと考えています。」

『ヤングケアラー』を知っていますか？

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



④ 家庭児童相談室（子育て支援課内）
☎（21）2227
©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Izumi Shiga



サクラを守ろう！！ STOPクビアカカ

写真提供：栃木県

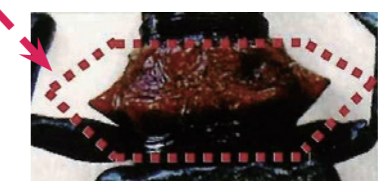


特定外来種「クビアカツヤカミキリ」の被害が拡大しています。幼虫がモモ、ハナモモ、スモモ、ウメ、サクラに寄生し、内部を食い荒らすことで、樹木は最終的に枯れてしまいます。

クビアカツヤカミキリの特徴



- ・成虫は、6月から8月に現れる
- ・頭からお尻までの長さは、2～4cm
- ・全体に光沢のある黒色
- ・胸部（クビの部分）が赤くそろばんの珠の形
- ・捕まえると刺激臭を発することがある



クビアカツヤカミキリの胸部

クビアカツヤカミキリの成虫

被害木の特徴



幼虫が入り込んだ樹木からは、大量のフラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）が排出されるので、目印となります。



フラスの拡大写真

防除対策支援

庭木等がクビアカツヤカミキリの被害にあった場合の防除対策支援があります。環境課に問合せください。

- ・防除用ネット、防除用殺虫剤の配布
- ・サクラの被害木に対する薬品の樹幹注入
- ・被害木の伐採等費用の一部補助
- ・防除対策の出前講座

運搬や飼育・販売などは禁止！

クビアカツヤカミキリは「特定外来生物」です。生きたままの運搬や飼育、販売等が禁止されています。違反した場合には罰則があります。

クビアカツヤカミキリの防除対策

被害木は県の「クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル」に沿って、薬剤処理やネット巻き・捕殺をしなければなりません。また、活動期の5月から9月は、被害木の伐採は原則禁止されています。詳しくは県ホームページで確認してください。
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/kannkyou/kubiakatsuyakamikiri.html>



殺虫剤を注入



被害木にネットを巻き、成虫が出てきたら捕殺



成虫やフラス（幼虫のフンと木くず）を見つけた場合には、環境課（☎（21）2366）にご連絡ください。